

「インフルエンザの予防・診断・治療」



今年もインフルエンザが流行しています。毎年、冬には、渡り鳥がインフルエンザを運んできます。

インフルエンザの予防は、うがいとマスク、手洗い、そして予防接種が重要です。昨年までの新型インフルエンザも含め、予防接種は効果があります。1月31日まで接種を行っています。

インフルエンザは、喉の痛みや咳の上気道症状とともに、突然の高熱（38.5度以上）、節々の痛み、頭痛を伴い、風邪とは区別されません。

インフルエンザの迅速検査は、かかっている、高熱の発熱後、12時間以内では陽性率は低く、確定診断が困難です。一方、インフ

ルエンザの治療薬（抗ウイルス剤）は、48時間以内に投与すれば、著明な効果が見込まれます。しかし、ウイルスが陰性化するにはもう少しかかり、平熱に下がっても、少なくとも翌々日までは、学校や職場に出られません。

インフルエンザに打ち勝ち、元気に冬を乗り越えましょう。

医療法人社団 広徳会

細川 医院

外科・整形外科・胃腸科

	月	火	水	木	金	土	日祝
9:00							
12:00	○	○	○	○	○	○	
16:00	○	○	○		○		
19:00							

※時間外の往診も致します！

神戸市北区道場町日下部1019-1

☎078-951-0200

<http://www8.ocn.ne.jp/~hosoiin/>

「花粉症について」



今年もスギ花粉症の春が来ました。眼と鼻の症状で大変です。花粉症とは、花粉が原因（アレルゲン）となる、アレルギー性鼻炎とアレルギー性結膜炎を主とする疾患です。花粉の他に、大気汚染、喫煙、食生活、腸内細菌なども影響すると言われています。

花粉症の有病率は増加しており、約20%の国民がかかっています。特にスギ花粉症は、そのうち70%を占めます。国土のなんと12%がスギ林といえます。スギ以外にも、季節ごとに種々の花粉症があります。

症状は、クシャミ、鼻水、鼻づまり、眼のかゆみ、涙、眼や眼の周りが赤くなる等です。対策は、花粉症用の

マスク、メガネ。コートはすべて拭いた素材。帰宅時花粉をほらって入る、うがい、洗顔。花粉飛散時期は洗濯の外干しは避ける等。治療は民間療法や売薬ではなく、キチンと医療機関を受診されることを勧めます。改良された最新の薬を中心に、患者さんに合った治療を行っています。当院にて診療を行っています。

医療法人社団 広徳会

細川 医院

外科・整形外科・胃腸科

	月	火	水	木	金	土	日祝
9:00							
12:00	○	○	○	○	○	○	
16:00	○	○	○		○		
19:00							

※時間外の往診も致します！

神戸市北区道場町日下部1019-1

☎078-951-0200

<http://www8.ocn.ne.jp/~hosoiin/>